

1. 実施時期 令和7年1～2月

2. アンケート結果

【 学校・児童・クラスについて 】

対象	設 問		肯定的な回答	%
児 童	1	学校へ行くのが楽しい。	87	
	9	自分のクラスは協力的だと思う。	90	
保 護 者	2	子どもは学校生活が楽しいと感じている。	91	
	3	学校は学校だよりや懇談等で教育活動を伝えている。	87	
	25	学校からの文書（デジタル配信を含む）は必ず確認している。	88	
	26	学校からのおたより（学校だより・学年だよりなど）は学校の様子を知るのに参考になる。	90	
地 域	3	学校だよりなどのおたよりは学校の様子を知る参考になる。	100	
	4	学校のホームページは見やすく、情報の発信に効果的である。	100	
	7	学校からの情報提供は十分に行われている。	90	
教 員	11	教育目標に即した教育活動により、児童の成長・変容がみられる。	88	

※これらの項目については、日々の教育活動の成果を表す指標と考えています。今後も、保護者・地域の方からのご理解・ご協力のもと、児童の成長を願って教育活動を進めていけるよう努めてまいります。

【 教育目標について 】

対象	設 問		肯定的な回答	%
児 童	18	児童朝会での校長先生の話はわかりやすい。	81	
保 護 者	1	学校の教育方針はわかりやすい。	78	
地 域	1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	90	
教 員	1	教育目標は本校の実態や今の教育課題に沿っている。	96	
	3	教育目標を達成できるよう、「チーム道東小」として教育実践を工夫している。	96	

※教育活動をすすめるにあたって、教育方針や教育目標をしっかりと明示し、子どもたちが「ともに輝く！ひがしっ子」となれるよう、保護者はもちろん、地域の方々にもわかりやすく伝え、教育実践をすすめてまいります。

【 教育活動全体について 】

対象	設 問		肯定的な回答	%
児 童	16	運動会や遠足などの学校行事は楽しい。	97	
	17	学校図書館の本を読んだり、借りたりするのを楽しみにしている。	76	
	19	たてわり交流の活動は楽しい。	83	
	20	クラブ活動は楽しい。	94	
	21	委員会活動はやりがいがある。	89	
保 護 者	27	運動会や遠足などの学校行事は子どもにとって有意義なものになっている。	99	
	28	授業参観の時期や回数は適切である。	87	
	29	個人懇談では必要だと思うことを担任に聞いたり、伝えたりしている。	95	
地 域	6	学校は地域の方に授業を参観する機会を設けている。	80	
教 員	4	学校運営に教職員の意見が反映されている。	92	
	10	教育活動全般においてPDCAサイクルに基づき、教育研究を進めている。	92	

※児童「学校図書館の本を読んだり、借りたりするのを楽しみにしている」の肯定的回答が76%と微減しています。学力向上の下支えとなる読書活動について、魅力ある学校図書館運営にさらに取り組んでまいります。
※授業参観や学校公開、運動会等の学校行事の充実を努めてまいりました。今後も、活動の目的や意義を考え、教育活動の更なる充実を図りたいと思います。

【 学校生活について 】

対象	設 問		肯定的な回答	%
児 童	22	学校給食を毎日残さず食べている。	67	
	23	掃除の時間や給食当番は一生けん命している。	94	
	24	学校のきまりや先生の言うことは守っている。	89	
保 護 者	11	先生は子どものことをよく理解している。	87	
	12	先生は子どもの間違った行動には適切に指導してくれている。	91	
教 員	8	授業では、集団・学習上のルールを決めて、徹底的に指導している。	100	

員	9	物字目の時間に「読む」「書く」「話す」「計算する」などの基礎学力を養い取り組んでいる。	84	
---	---	---	----	--

※児童は学校のきまりを守ろうと努力しており、全体的に落ち着いて生活できている。児童理解についても、保護者との連携を密にしながら深めてまいります。給食指導・食に関する指導を強化しながら、「おいしく食べられる学校給食」をすすめてまいります。

【 学力向上・学習指導について 】

対象	設 問		肯定的な回答	%
児童	2	授業はわかりやすい。	88	
	5	授業で自分の考えを話したり、友だちの意見を聞いたりする機会がよくある。	83	
	6	授業でタブレットなどのICT機器を使って学習するのは楽しくて、わかりやすい。	88	
保護者	4	子どもは学校の学習を理解している。	84	
	5	子どもは「読む」「書く」「計算する」「話す」などの基礎的な力がついてきている。	87	
	6	子どもは算数の授業はわかりやすいと言っている。	70	
	9	宿題は子どもに合わせて出されている。	82	
教員	5	各教科の学習指導について、基礎・基本とともに教科・教員・指導法とを工夫している。	100	
	6	タブレット学習や参加体験型学習を行うなど、児童が主体的に取り組む学習活動を重視している。	92	
	7	授業では、タブレットなどのICT機器を積極的に活用している。	64	
	17	校内研修は自身の教育実践に役立つような内容となっている。	92	

※今年度、研究テーマ『主体的に学び、自分の考えを表現できる力の育成』とし、ゴール「つきたい力」を明確にし、「学びの必然性」＝「主体的な学び」となるよう、児童の主体性に焦点をあてて研究を進めてきたことでいずれの項目も80%以上の肯定的回答がありました。中でも、自己決定力を中心に、自分の学び方や学習態度に合わせて学習に取り組んだり、ICT機器や学校図書館を活用した探究的な学習をすすめたりしながら、児童の学びを深化させてきました。

今後も、基礎・基本の学習に加え、個別最適な学習や学習の出口（学びの活用）につながるような単元カリキュラムを計画・実践し、継続的な学びをすすめてまいります。

【 友達関係・人権教育について 】

対象	設 問		肯定的な回答	%
児童	4	友だちと協力して勉強したり、活動したりするのは楽しい。	94	
	7	自分の命や自分らしさを大切にすること、他人への思いやりを学ぶことが多い。	89	
	10	クラスのために当番や係の活動（仕事）に取り組んでいる。	93	
	11	どの友だちとも仲良くしている。	92	
	12	友だちが嫌がることをしたり、傷つけることを言ったりしない。	86	
	13	友だちのことでよくないと思った時は注意している。	87	
	14	いやなことをされたり、言われたりした時は、相手に「やめて」と言える。	82	
保護者	13	子どもは学校のことで特に悩んでいるということはない。	70	
	14	学校はいじめの早期発見・解消に向けて取り組んでいる。	76	
	16	子どもは進んであいさつしている。	74	
地域	5	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	100	
	8	子どもたちはしっかりあいさつができる。	80	
教員	13	すべての教育活動において、人権尊重の観点から人権啓発と向かい合う指導を行っている。	92	
	16	いじめや不登校を意識した仲間づくり・集団作りに取り組んでいる。	96	
	23	体罰やセクシャルハラスメントの防止など、人権尊重の姿勢を貫いている。	80	

※教員自らが人権感覚を高めるよう努力し、児童に対して発達支援的な指導を意識するとともに、児童がお互いを認め合える集団作りに取り組んでいます。

※「いじめ」の問題に対しては、保護者と連携しながら、関係する児童や状況に応じて適切に指導してまいります。そして、学校全体で「安心できる学校」づくりを進めてまいります。

【 家庭学習・家庭教育・家での過ごし方について 】

対象	設 問			%
児童	25	毎日、大体の時間を決めて宿題や勉強をしている。	67	
	26	家では宿題の他に、自分で決めた勉強（問題集・調べ学習など）をしている。	61	
	27	学校以外で本（マンガや雑誌以外）をよく読んでいる。	59	
	28	習い事（塾やスイミング・英語・サッカーなど）をしている。	77	
	29	テレビや動画（Youtube）を見たり、ゲーム（ゲーム機・携帯など）をする時間を決めて、守っている。	61	
	30	毎日、決まったお手伝いをしている。	58	
	31	家の人に学校でのことをよく話す。	82	
	32	お家の人に自分からあいさつしている。	83	
	34	毎日、早寝・早起きを心がけている。	61	
	35	毎日、朝ご飯を食べている。	91	
保護者	10	毎日、子どもの話を聞くようにしている。	98	
	17	子どもは毎日朝食をきちんと食べて登校している。	94	
	18	子どもは早寝・早起きを心がけている。	74	
	19	子どもは毎日、家の手伝いをしている。	62	
	20	テレビやゲーム（携帯を含む）を使う時の時間や約束を決めている。	70	